

3) 令和8年度以降の取組予定

令和 8年 6月 3日

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

三次市・安芸高田市・広島県・広島地方気象台・中国地方整備局

三次市

【三次市】

■流域治水に関する取組

江の川流域水害対策計画や「流域治水」及び三次市における内水方針に沿って、防災部門、建設部門、農業振興部門の部署が連携し、ハードとソフトの総合的な治水対策を推進するとともに、地元の理解も得ながら排水量を調整する水田貯留の推進やため池利用の検討をしていくとともに、引き続き土地利用規制など安全な住まい方を啓発していく。

■水防体制の強化に関する取組

災害対策本部と水防体制を強化するため、市が所有する排水機場の計画的な整備・更新等を実施するとともに、仮設ポンプの商用電源化や仮設ポンプの効率化を図り内水被害の軽減を図っていく。また、消防団に配備した可搬型水中ポンプの稼働訓練等を実施し、円滑な活用ができるよう取り組む。

■自主防災組織に関する取組

自主防災組織が行う防災訓練について、自主防災組織活動補助金を活用し、女性の視点も踏まえながら避難所運営訓練等行う。

■避難確保計画の作成等の支援及び避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成

三次市地域防災計画に記載された要配慮者利用施設の避難確保計画作成等の支援、並びに自主防災組織、民生委員及び福祉事業所と連携協力しながら避難行動要支援者の個別避難計画を作成する。

■洪水想定訓練の実施

関係機関と連携しながら、災害対策本部の情報伝達訓練や国・県・市が所有する排水ポンプ車の合同稼働訓練、また自主防災組織や女性消防団、協定締結先企業に協力を得ながらの避難所運営訓練等を行う。

■防災教育の充実

市内小学5年生を対象に、防災士を講師に、教育課程に位置付けた体験活動教育事業を実施するとともに、積極的な出前講座の実施に取り組む。

安芸高田市

【安芸高田市】

1. 自主防災組織活動支援(継続)

- ・訓練事業への補助
- ・職員等の派遣
- ・避難の呼びかけ体制構築

2. 自主防災組織活動成果報告会の開催(継続)

- ・市内の自主防災組織の活動成果報告会を実施する。

3. 避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成(継続)

- ・福祉専門職や福祉部局と連携協力しながら避難行動要支援者の個別避難計画を作成を進める。

4. 災害時における協定団体との共同訓練の実施(継続・新規)

- ・協定を締結している安芸高田署と合同で訓練を行う。
- ・協定を締結している民間企業と合同で災害時のトイレ設置訓練を行う。

5. 市役所内各部の訓練・研修の実施(継続・新規)

- ・避難所開設に係る職員の知識等の習熟を図るため、各支所(5支所)において避難所開設訓練を実施する。
- ・災害応急対応にかかる各部班の研修・訓練を実施する。

広島県

第3期の取組予定(広島県)

赤文字:新規・拡充箇所

①迫り来る危機に対応する確かな避難行動のための取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	広島県		R8	R9	R10	R11	R12
大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）への更新							
規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時 考慮したタイムラインの更新	●	あり					
民が安全に避難するための避難情報等の発令基準の見直し・ 難誘導体制の検討	●	あり					
大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知							
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定 された家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域 避難所）	●	あり					
水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	●	あり					
水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設 の理者が策定する避難計画作成等への支援	●	あり					
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザー マップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	－	無し					
住民の避難行動を支援する防災情報の提供							
係機関による内水被害状況の共有	●	あり					
域避難や水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライ ）等の実施	－	無し					
急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信	－	無し					
象情報発信時の「防災気象情報」の各種改善	－	無し					
難情報伝達手段の普及促進	－	無し					
NSを活用した洪水時における情報提供等	●	あり					
ムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、効率 な情報入手方法の周知手法の検討		無し					

④異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	広島県		R8	R9	R10	R11	R12
異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実							
防災施設の機能に関する情報の充実	－	無し					
ダム放流情報を活用した避難体制の確立	－	無し					
異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実・強化							
ダム等の洪水調節機能の向上・確保	－	無し					

②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	広島県		R8	R9	R10	R11	R12
■河川管理施設を最大限活用するハード・ソフト対策の促進							
近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備や流下能力の維持管理	－	無し					
ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施	－	無し					
避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施	●	あり					
危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供	－	無し					
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保の検討	－	無し					
河川管理の高度化の検討	－	無し					
簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供	－	無し					
■避難行動を支援する効率的な河川巡視・水防活動							
備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	●	あり					
局所的に低い堤防等の事前水防活動	－	無し					
関係機関による避難経路の被災状況の情報共有	●	あり					
関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率的な水防活動と避難支援を行うための現地点検	－	無し					
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	－	無し					
水防団での連携、協力	－	無し					

⑤都市浸水想定区域における土地の利用の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	広島県		R8	R9	R10	R11	R12
■都市浸水想定区域における土地の利用の取組							
浸水被害防止区域の指定の検討		無し					

③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
			R8	R9	R10	R11	R12
■ 水防災を意識した防災教育の実施							
過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催	●	あり					
タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施	－	無し					
地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施	－	無し					
小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充及び教材の作成	●	あり					
地域のコミュニティを強化するための対話や協働の場の提供		無し					
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施							
住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及	－	無し					
水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施	－	無し					

●その他:水害後の効率的な復旧・復興のための取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	広島県		R8	R9	R10	R11	R12
堤防の復旧を想定した水防資機材の確保	●	あり					
大規模災害を想定した排水作業準備計画(案)の見直し	●	あり					
公益企業(電気・ガス・水道等)との勉強会の実施	－	無し					

【広島県】

■水防災を意識した防災教育の実施

小学校等を対象とした「ひろしま防災出前講座」を開催します。



一人ひとりが
自分の命を自分で守り抜く力を身につけ、
未来の防災リーダーとなるために。

近年多発する風水害から命を守るための意識を、
児童に持ってもらいたい

ひろしまマイ・タイムラインや土砂災害・洪水の
基本知識を学ばせたい

学校で実施している防災教育にプラスして、
外部講師による講義を受けたい

参観日や避難訓練に合わせて、講義を受けたい

今まで広島県が行ってきた、
「ひろしまマイ・タイムライン出前講座」・「砂防出前講座」・「河川出前講座」が

「ひろしま防災出前講座」

として生まれ変わりました！

(リニューアルのポイント)

- 基礎知識・応用編など、習熟度レベルに合わせた講義を選択可能！
- 人型ロボット「Pepper」と一緒にマイ・タイムラインを学ぶ講座を新設！
- 「防災学習塾」などの画々もオプションメニューも充実し、多角的な視点から総合的に学べる講座に！
- 「キッズ防災士」の認定講座を新設！

※詳しくはホームページをご覧ください
https://www.gemai.pref.hiroshima.jp/news/news/topics_36cc22f19c3252b1c1cd801cc8f64a7_1.pdf

■避難行動を支援する効率的な河川巡視・水防活動

関係機関が連携した水防工法講習会を沼田川河川防災ステーションで行います。

■住民の避難行動を支援する防災情報の提供

X（旧Twitter）等を活用し、平常時は防災意識向上に関する情報、洪水時は注意喚起や避難情報発令に関する情報発信等を行います。

広島地方気象台

第3期の取組予定(広島地方気象台)

赤文字:新規・拡充箇所

①迫り来る危機に対応する確かな避難行動のための取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12
大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）への更新							
規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時 考慮したタイムラインの更新	●	あり					
民が安全に避難するための避難情報等の発令基準の見直し・ 難誘導体制の検討	●	あり					
大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知							
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定 れた家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域 避難所）	－	無し					
水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	－	無し					
水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設 の理者が策定する避難計画作成等の支援	●	あり					
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザー ドマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	－	無し					
住民の避難行動を支援する防災情報の提供							
係機関による内水被害状況の共有	－	無し					
域避難や水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライ ）等の実施	－	無し					
急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信	－	無し					
象情報発信時の「防災気象情報」の各種改善	●	あり					
難情報伝達手段の普及促進	－	無し					
NSを活用した洪水時における情報提供等	△	あり					
ムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、効率 な情報入手方法の周知手法の検討		無し					

④異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12
異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実							
防災施設の機能に関する情報の充実	－	無し					
ム放流情報を活用した避難体制の確立	－	無し					
異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実・強化							
ム等の洪水調節機能の向上・確保	－	無し					

②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定					
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12	
■河川管理施設を最大限活用するハード・ソフト対策の促進								
近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備や流下能力の維持管理	－	無し						
ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施	－	無し						
避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施	－	無し						
危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供	－	無し						
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保の検討	－	無し						
河川管理の高度化の検討	－	無し						
簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供	－	無し						
■避難行動を支援する効果的な河川巡視・水防活動								
備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	－	無し						
局所的に低い堤防等の事前水防活動	－	無し						
関係機関による避難経路の被災状況の情報共有	－	無し						
関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率的な水防活動と避難支援を行うための現地点検	－	無し						
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	－	無し						
水防団での連携、協力	－	無し						

⑤都市浸水想定区域における土地の利用の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12
■都市浸水想定区域における土地の利用の取組							
浸水被害防止区域の指定の検討		無し					

③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定					
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12	
■ 水防災を意識した防災教育の実施								
過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催	●	あり						
タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施	●	あり						
地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実 施	－	無し						
小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水 害(防災)教育の拡充及び教材の作成	●	あり						
地域のコミュニティを強化するための対話や協働の場の提供		無し						
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施								
住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及	－	無し						
水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部 局との情報共有や避難訓練の実施	－	無し						

●その他:水害後の効率的な復旧・復興のための取組

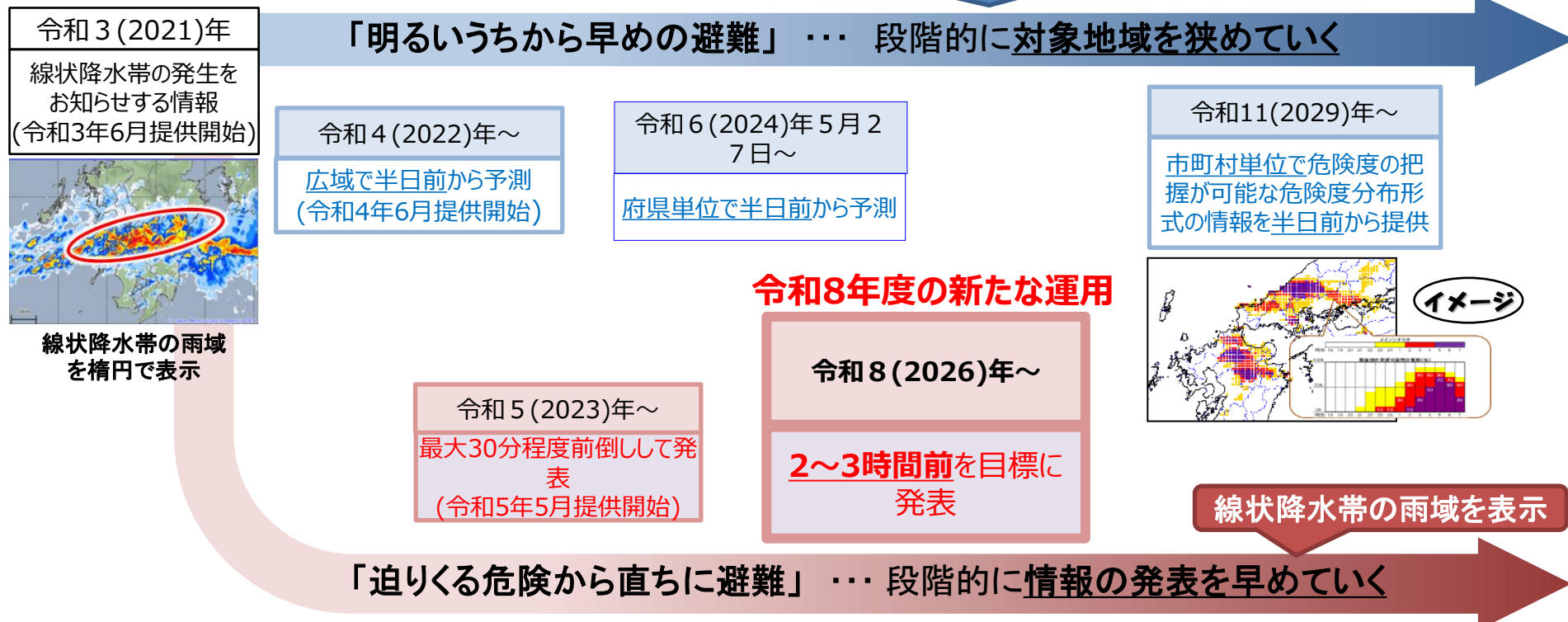
項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定					
	気象台		R8	R9	R10	R11	R12	
堤防の復旧を想定した水防資機材の確保	－	無し						
大規模災害を想定した排水作業準備計画(案)の見直し	－	無し						
公益企業(電気・ガス・水道等)との勉強会の実施	－	無し						

【広島地方気象台】

・防災気象情報の改善

・令和8年度より、線状降水帯による大雨について、**2～3時間前**を目標に予測情報を発表予定。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

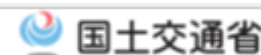
【広島地方気象台】



・防災気象情報の普及啓発（継続）、防災気象情報の改善について広報、周知、拡充

地域の防災力強化を目的として、地域住民の方々や関係機関を対象に防災気象情報に関する説明・解説を行っている。

新しい防災気象情報（令和8年5月下旬から運用開始予定）



- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの） 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

中国地方整備局

第3期の取組予定(中国地方整備局)

赤文字:新規・拡充箇所

① 迫り来る危機に対応する確かな避難行動のための取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）への更新							
規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時 考慮したタイムラインの更新	△	あり					
民が安全に避難するための避難情報等の発令基準の見直し・ 難誘導体制の検討	△	あり					
大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知							
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定 された家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域 避難所）	●	あり					
水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	●	あり					
水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設 の理者が策定する避難計画作成等の支援	●	あり					
定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザー マップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	－	無し					
住民の避難行動を支援する防災情報の提供							
係機関による内水被害状況の共有	●	あり					
域避難や水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライ ン）等の実施	●	あり					
急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信	●	あり					
象情報発信時の「防災気象情報」の各種改善	－	無し					
難情報伝達手段の普及促進	－	無し					
NSを活用した洪水時における情報提供等	●	あり					
ムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、効率 な情報入手方法の周知手法の検討		あり					

④ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実							
防災施設の機能に関する情報の充実	●	あり					
ム放流情報を活用した避難体制の確立	●	あり					
異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実・強化							
ム等の洪水調節機能の向上・確保	●	あり					

② 避難時間を確保する効果的な水防対策の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
■河川管理施設を最大限活用するハード・ソフト対策の促進							
近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備や流下能力の維持管理	●	あり					
ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施	●	あり					
避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施	●	あり					
危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供	●	あり					
樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保の検討	●	あり					
河川管理の高度化の検討	●	あり					
簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供	●	あり					
■避難行動を支援する効果的な河川巡視・水防活動							
備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	●	あり					
局所的に低い堤防等の事前水防活動	●	あり					
関係機関による避難経路の被災状況の情報共有	●	あり					
関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率的な水防活動と避難支援を行うための現地点検	●	あり					
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	●	あり					
水防団での連携、協力	●	あり					

⑤ 都市浸水想定区域における土地の利用の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
■都市浸水想定区域における土地の利用の取組							
浸水被害防止区域の指定の検討		あり					

③ 水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
■ 水防災を意識した防災教育の実施							
過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催	●	あり					
タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施	●	あり					
地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施	●	あり					
小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充及び教材の作成	●	あり					
地域のコミュニティを強化するための対話や協働の場の提供		無し					
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施							
住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及	●	あり					
水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施	●	あり					

●その他:水害後の効率的な復旧・復興のための取組

項目名	R7年度 までの実 施状況	実施予定	実施予定				
	中国 地整		R8	R9	R10	R11	R12
堤防の復旧を想定した水防資機材の確保	●	あり					
大規模災害を想定した排水作業準備計画(案)の見直し	●	あり					
公益企業(電気・ガス・水道等)との勉強会の実施	●	あり					

【中国地方整備局】

①迫り来る危機に対応する的確な避難行動のための取組

【1-1・2-1】

- ・内水タイムラインの検討・見直し
→タイムラインに内水の影響を反映するため検討中
- ・内水位の被害想定・情報提供基準の検討
→令和7年度に内水を含めた多段階浸水想定図・浸水リスクマップ先行地区を公表、令和8年度に残りの地区を検討、公表予定

②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組

【16・19】

- ・危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供
- ・簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供
→令和8年度も順次、危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを更新予定

【14】ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施

- ・AIを活用したダム流入量予測システムの実装
→引き続き、低水・融雪出水についてもAIを活用した予測システムを開発

③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

【29-1・30-2】

- ・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
教材として、水害リスクを表示できるVR・AR等のデジタル技術を検討
- ・ハザードマップやタイムラインを考慮した防災ワークショップの開催、住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及
→令和8年度も引き続きマイタイムライン作成会・出前講座を実施予定